

テレビでは伝えられない真実を！

## 被災地の水産加工業 経営者たちの戦いの記録

「木の屋」の復興活動には、  
参考にしたいBCP復興のヒントがあった！



社員とボランティアで汚泥の中の缶詰を掘り出し、「希望の缶詰」と名付け3缶千円で義援金とした。この義援金を社員の給料として活用した。



総面積 3900 の工場があった

### 「木の屋」の復興を支えたBCP

1. 「木の屋」は工場が完成し稼働するまでの間、他県の缶詰会社に自社の看板商品「鯨の大和煮」を製造委託した。
2. 震災以前から地震津波保険に加入していたため、震災以前の銀行からの借入れはこの保険金で完済し、ダブルローンを免れた。
3. 再び大震災が起きた時のことを考え、新工場は従来の魚町と内陸部の美里町の二カ所に建設し、リスクを軽減させた。

### 行政からの補助金は？

石巻の水産加工業社には、第1次申請も第2次申請も1社も受理されなかった。

年末ギリギリに、水産加工業200社が一括申請することで、ようやく第3次補助金が受理された。



鯨をイメージした「木の屋 美里町新工場」